
2026年度 第112回
日本獣医麻酔外科学会学術集会
2026年6月19日^金・20日^土・21日^日

ご協賛のお願い



◆主催◆

一般社団法人日本獣医麻酔外科学会

2026年度 第112回日本獣医麻酔外科学会学術集会

ご協賛のお願い

2026年 2月

2026年度 第112回日本獣医麻酔外科学会学術集会

大会長 浅野 和之 (日本大学)

拝啓 時下 益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。本会に対しましては、日頃から多大なご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本会では2026年6月19日(金)・20日(土)・21日(日)の3日間、大宮ソニックシティにおいて2026年度第112回日本獣医麻酔外科学会学術集会を開催することとなりました。プログラムは三分野委員会(整形外科、軟部組織外科、麻酔・疼痛管理)における教育講演、リフレッシュャーコース、シンポジウム、パネルディスカッションを中心に、若手獣医師の教育に注力した「レジデントフォーラム」、「レジデントによる若手獣医師のためのBasicセミナー」、「専門医と囲むFIRESIDE(座談会形式の症例検討等)」、男女共同参画をテーマとした「ハートウォーミングパネルディスカッション」などを企画しており、若手からベテランまで多くの獣医師に参加いただける内容です。また、公募演題にはアワードを設置しているほか、発表を行う若手獣医師や獣医学生には旅費交通費の支援を行います。

獣医麻酔学および外科学に関する研究、教育および獣医療の促進を図り、ついでには学術文化の発展に寄与する学術集会となるよう鋭意努めてまいりますので、何卒ご支援のほど賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

2026年度 第112回日本獣医麻酔外科学会学術集会

112th Academic Meeting of the Japanese Society of Veterinary Anesthesiology

開催期間：2026年6月19日(金)・20日(土)・21日(日)

見逃し配信 2か月程度を予定

会 場：大宮ソニックシティ

埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目7-5

<https://www.sonic-city.or.jp/access.html>

主 催：2026年度 第112回日本獣医麻酔外科学会学術集会開催準備委員会

大会長 浅野 和之 (日本大学)

実行委員長 枝村 一弥 (日本大学)

開催準備委員会事務局 神奈川県藤沢市亀井野 1866 日本大学生物資源科学部

学会本部事務局 東京都文京区本郷 2-29-7 大谷ビル 3階

E-mail: info@jsvas.net TEL: 03-3830-0285

申込先フォーム

<https://form.run/@2026-112-sponsor>

申込期間

2026年3月2日(月) ~ 4月30日(木)



協賛募集内容		全て消費税込表示
① 賛助金	100,000 円 / 一口	
② 展示ブース	100,000 円 (土日 2 日間)	
③ ランチョンセミナー	50 席 : 100,000 円 100 席 : 150,000 円 200 席 : 200,000 円	
④ サテライトセミナー	150,000 円【会場枠により先着順となる場合がございます】	

① 賛助金：100,000 円 (税込) / 一口

学術集会サイトにてご芳名を掲載させていただきます。
 ご希望の場合、ロゴマークのバナーを掲載致します。(リンク掲載可)

② 展示ブース：100,000 円 (税込) (6 月 20 日出・21 日回)

出展料 100,000円/1ブース【予定募集数：100 ブース程度】

【基礎仕様(1ブース)】

- 1) サイズ:W2,250mm×D1,500mm×H2,100程度予定(バックパネル<システムパネル>付)
- 2) 机:2台(クロス付き、W1,800mm×D450mm×H730mm予定)
- 3) 椅子:4脚

※ 1) ～ 3) は事務局にて準備いたします。

※ オプション備品等は、申込締切後、改めてご案内いたします。

※ 電気幹線工事・電気使用料、コンセントをご希望の場合は、出展社負担となりますので、別途お申し込みください。

【オプション費用(予定)】

電源使用料金..... 16,500 円(予定)/ 500w

社名板(予定 900mm×200mm) 3,300 円(予定)/ 1 枚 ほか

展示期間は、6 月 20 日(土)・21 日(日)の 2 日間 (両日 8:30 ～ 16:00 頃を予定) となります。
 搬入・搬出等の詳細および規格の確定情報について、申込締切後、改めてご案内いたします。
 アイランド形式など、スペース出しをご希望の場合は別途お問い合わせください。
 配置場所や出展料をご相談の上、検討させていただきます。

※展示に関するご注意

本学術集会での展示は、原則として農林水産省承認の医療機器等を対象としますが、未承認であっても、すでに海外あるいは国内でその有用性が広く認識されている(専門書や学術雑誌などに記載がある)と認められる場合は、学術および臨床技術の向上と発展を目的として、展示することができます。ただし、その展示に際しては、未承認であること、販売や譲渡ができないことを明らかにしてください。また、関係資料等の配布は、専門書や学術雑誌などに記述された信頼性が高いものに限ります。

③ ランチョンセミナー：100,000 円～ 200,000 円（税込）（6 月 20 日(土)または 21 日(日)）

テーマおよび講師を決定の上、お申込下さい。

日 程 6 月 20 日(土) または 21 日(日) のいずれか 1 日を選択 昼食時間 60 分を予定
共 催 「2026 年度第 112 回日本獣医麻酔外科学会学術集会」と「協賛企業」の共催
人 数 1 会場あたり 50～200 人
費用負担 講師謝礼・旅費 …… 貴社ご負担
会場費（備品代込）… 100,000 円～ 200,000 円（学会事務局よりご請求）
弁当代 ……………（実費）1,000 円～ / 個（飲み物代込）（運営会社よりご請求）

※日時・会場は先着順で決定いたします。ランチョンセミナーは対面のみ（配信なし）となります。

※ランチョンセミナーの詳細、弁当手配・追加機材等のオプション備品については、申込締切後、改めてご案内いたします。

※テーマ・座長・演者の選定と注意点

原則として企業にて選定して頂きます。機器や薬品などをテーマとする場合は、農林水産省で小動物医療用に承認が得られているものを原則とします。ただし、未承認であっても、すでに海外あるいは国内でその有用性が広く認識されている（獣医外科学ならびに獣医麻酔学分野の成書、専門書、あるいは学術雑誌に記載があること）と認められる場合は、学術および臨床技術の向上と発展を目的に、テーマとして取り扱うことができます。しかし、その際には、未承認であり、販売や譲渡ができないことを明らかにし、販売を目的とした会社名と商品名の宣伝はしないでください。また、関係資料等の配布は、専門書や学術雑誌などに記述された信頼性が高いものに限りま

④ サテライトセミナー：150,000 円（税込）（6 月 19 日(金) 但し 18 日(木)から 2 日(土)開催の相談可能）

下記の企画要項をご参照の上、お申込下さい。

1. 目的

・獣医外科学分野ならびに獣医麻酔学分野の知識あるいは技術の向上を目的とする。

2. 特徴

・講演だけでなく、実技講習も実施可能である。
・全体の責任は学会が持ち、セミナーの企画および運営は主催企業が主体となり行う。

3. 条件

・プログラムは企業単独ではなく、その分野に精通している獣医師とともに計画し、この場合の獣医師は日本獣医麻酔外科学会の会員であること。
・実技講習の場合は、模擬動物または臓器（できれば模擬臓器）を使用し、生体を使用する場合には、倫理委員会の承認を受けなくてはならない。また、講師と受講者に対して十分に安全であること。
・主催企業で販売している製品を取り扱うことができるが、農林水産省で小動物医療用に承認が得られているものを原則とする。ただし、未承認であっても、すでに海外あるいは国内でその有用性が広く認識されている（獣医外科学ならびに獣医麻酔学分野の成書、専門書、あるいは学術雑誌に記載があること）と認められる場合は、学術および臨床技術の向上と発展を目的として、取り扱うことができる。
・農林水産省に承認されていない器具、機器、薬剤等を使用する場合には、セミナー内で販売および譲渡行為を行ってはならず、販売を目的とした会社名と商品名の宣伝や商業的な目的の写真及び動画の撮影も認めない。また、当該製品の関係資料等の配布は、専門書や学術雑誌などに記述された信頼性が高いものに限る。

4. 運営

・主催企業が主体となって運営を行う。
・参加費は学術集会参加費とは別とし、主催企業が受講者から徴収する。
・開催場所は基本的に学術集会会場とし、施設使用料は主催企業側が負担する。
・セミナー運営（アナウンス、受講者の受付、ハンドアウト作製など）は主催企業で行う。
なお、開催アナウンスは学術集会ホームページ上でも行う。
・参加者は一般社団法人日本獣医麻酔外科学会会員に限定し、さらに学術集会参加登録者とする。

5. 採択

・サテライトセミナーの採択は学術担当理事ならびに倫理委員会で審査の上で決定する。

6. その他

・日程について指定日以外で希望のある場合は、経費（会場費、機材費等）を主催企業が負担の上、開催を認めることがある。※ 18 日(木)から 2 日(土)開催調整可能。

出展・共催申込みに関する取消および費用の取扱いについて

① 開催形式の変更または中止について

天災地変、感染症の拡大、行政機関からの要請または指導、注意報・警報の発令その他主催者の責によらない不可抗力により、学術集会の開催形式の変更（現地開催からオンライン開催への変更を含む）または開催中止となる場合があります。

この場合における出展料、共催費、賛助金その他各種費用の取扱いについては、主催者において状況を総合的に勘案のうえ決定し、出展企業および関係各社へ別途通知いたします。

② 出展・共催等の取消の申出について

出展、共催企画または賛助金等の申込み後に取消を行う場合は、速やかに主催者へ書面または電子メールにてご連絡ください。

申込者の都合による取消については、主催者にて内容を確認のうえ対応を決定いたします。

③ 出展料の取扱い

出展企業の都合により出展を取り消す場合、すでに納入された出展料は原則として返金いたしません。

ただし、主催者の責によらない事由により学術集会の開催が困難となった場合、または安全確保の観点から展示機会が著しく制限される場合には、主催者の判断により、出展料の全部または一部を次回以降に本学会が主催する学術集会の出展料へ充当することがあります。

なお、本取扱いは出展料の請求または納入の時期にかかわらず適用されます。

④ 共催費（ランチョンセミナー・サテライトセミナー等）の取扱い

共催企業の都合による取消の場合、すでに納入された共催費は原則として返金いたしません。

また、不可抗力等により飲食提供の制限、開催形式の変更または会場運営方法の変更が生じた場合においても、主催者が代替的な機会を提供した場合には、当該共催内容は履行されたものとみなします。

学術集会の開催自体が中止となり共催企画の実施が不可能となった場合には、主催者の判断により、次回以降の学術集会における共催費へ充当することがあります。

⑤ 賛助金（広告掲載・バナー掲載）の取扱い

開催プログラム、ウェブサイトその他媒体への広告掲載またはバナー掲載に係る賛助金については、掲載準備または制作作業開始後の取消の場合、原則として返金いたしません。

ただし、学術集会の中止により広告掲載機会の提供が不可能となった場合には、主催者の判断により、次回以降の学術集会における広告掲載費へ充当することがあります。

⑥ オプション申込費用の取扱い

電源使用料、社名板、追加備品、装飾施工費等、申込内容に基づき個別に手配、制作または施工を行うオプション費用については、取消時期にかかわらず原則として返金いたしません。また、次回開催への充当の対象とはなりません。